



# 2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社イントラスト  
〈証券コード：7191〉



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1. 会社情報**
- 2. 2019年3月期 第2四半期 業績**
- 3. 2019年3月期 業績見通し**

# 1. 会社情報

- 会社名 : 株式会社イントラスト
- 設立年月日 : 2006年3月
- 資本金 : 10億32百万円
- 決算期 : 3月
- 代表取締役 : 桑原 豊
- 本社所在地 : 東京都千代田区麹町1-4
- 主な拠点 : 仙台市、秋田市、富山市、名古屋市、大阪市、福岡市  
横浜ソリューションセンター
- 従業員数 : 96名
- 事業内容 : 総合保証サービス業



2つの事業で、  
マーケットニーズに応える、カスタマイズサービスを提供

## 保証事業

リスク+サービスのセットを保証として提供

膨大な  
大手企業  
マーケット



## ソリューション事業

保証に関わる専門性をサービスとして提供



## 債権の滞納リスク+サービスのセットを保証として提供

### 保証事業

様々な契約時に必要とされる連帯保証人を、イントラストがその立場を引き受け、信用を補完する制度



例えば、家賃債務保証の場合

借借人

賃貸人



連帯保証人



連帯保証人が必要な賃貸借契約において、成約率を向上させるメリットがあり、機関保証のニーズは年々拡大

# 顧客ニーズを効率的に解決する専門的な業務支援サービス

## ソリューション事業

### 保証事業

蓄積したスキル・ノウハウ

専門サービスに展開

#### C&O(コンサル&オペレーション)サービス

審査業務



契約管理



集金代行



未入金案内



調査訪問



法対応支援



滞納管理



#### Doc-onサービス



コールセンター機能

支払い・督促通知機能

決済機能（特許出願中）

#### 保険デスクサービス



保険募集業務

コールセンター機能

コンプライアンスに準拠した  
オペレーション

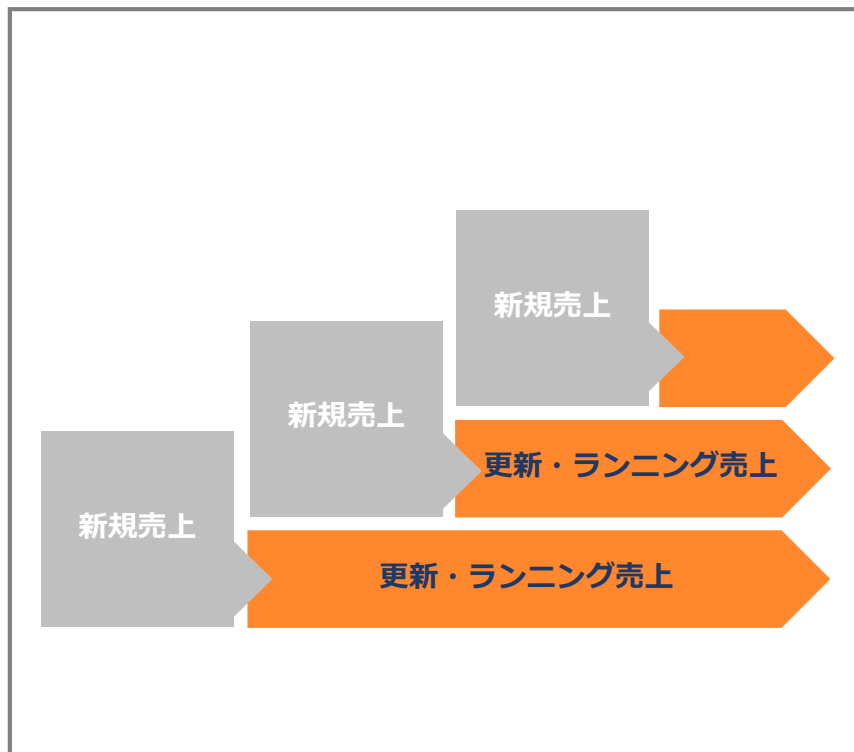
顧客の固有ニーズに合わせてデザイン

柔軟な解決策を提示

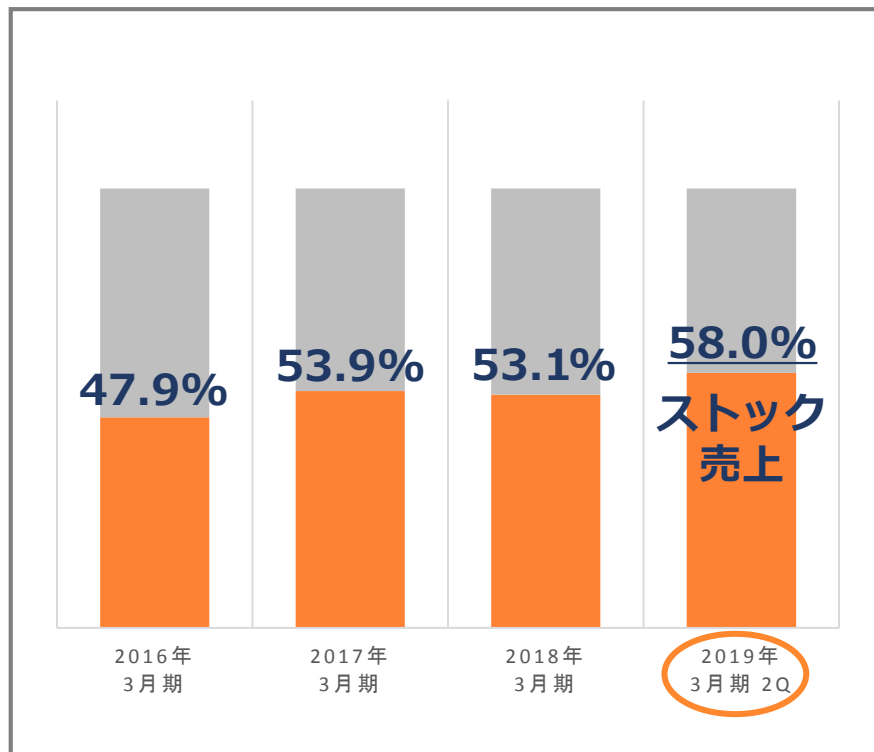


個別固有の問題を解決

## 🏠 ストック型ビジネス



## 🏠 ストック売上高構成比率推移





## 2. 2019年3月期 第2四半期 業績

## 増収 売上高 4.3% ↑

(単位：百万円)

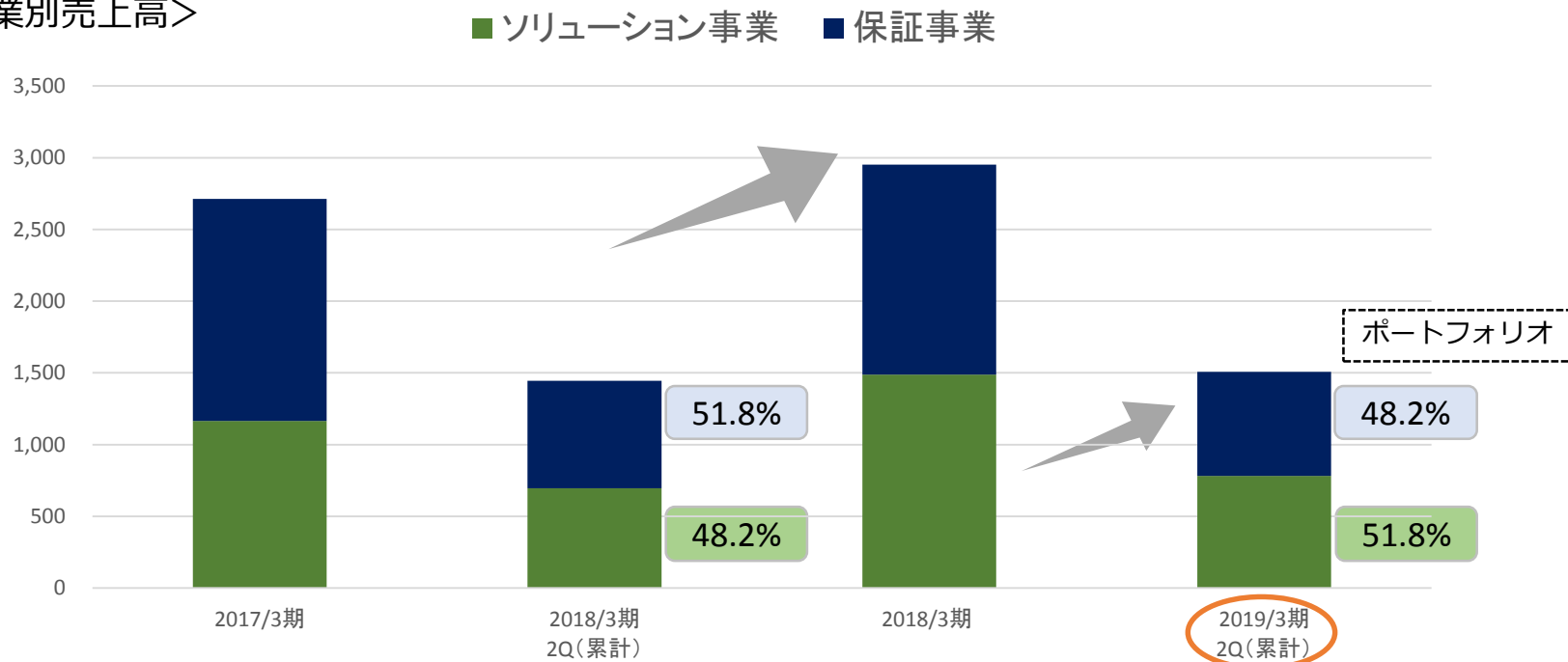
	[前期]2018/3期 2Q		[今期]2019/3期 2Q		対前年同期比		当初業績予想比	
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	増減額	増減率	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>1,444</b>	-	<b>1,506</b>	-	63	<b>4.3%</b>	▲ 123	<b>-7.5%</b>
売上原価	718	49.7%	756	50.2%	39	<b>5.4%</b>	-	-
<b>売上総利益</b>	<b>725</b>	50.3%	<b>749</b>	49.8%	24	<b>3.3%</b>	-	-
販売管理費	323	22.4%	391	26.0%	68	<b>20.9%</b>	-	-
<b>営業利益</b>	<b>402</b>	27.9%	<b>358</b>	23.8%	▲ 43	<b>-10.8%</b>	▲ 67	<b>-15.8%</b>
<b>経常利益</b>	<b>398</b>	27.6%	<b>358</b>	23.8%	▲ 39	<b>-9.9%</b>	▲ 67	<b>-15.8%</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>398</b>	27.6%	<b>358</b>	23.8%	▲ 39	<b>-9.9%</b>	-	-
<b>四半期純利益</b>	<b>268</b>	18.6%	<b>236</b>	15.7%	▲ 31	<b>-11.7%</b>	▲ 52	<b>-17.8%</b>

### 【主な要因】

- ・売上はソリューション事業が成長を牽引、対前年同期で増収  
対計画比で伸びが不十分だった主な要因はソリューション事業の受託件数が想定を下回ったこと及び医療費用保証の取り組みの立ち上がり一部遅れたこと
- ・営業利益では費用抑制も売上の対計画比マイナス分をカバーできず第2四半期においては減益

# 大手顧客のサービスが保証からソリューションに切替り、 総売上は着実に増収。新規ソリューションも新たな成長要因

<事業別売上高>



(単位：百万円)

件数	2017/3	2018/3_2Q	2018/3	2019/3_2Q	2Q 前年同期比
保証	1,547	747	1,464	726	97.1%
ソリューション	1,165	696	1,487	780	112.1%
合計	2,713	1,444	2,951	1,506	104.3%

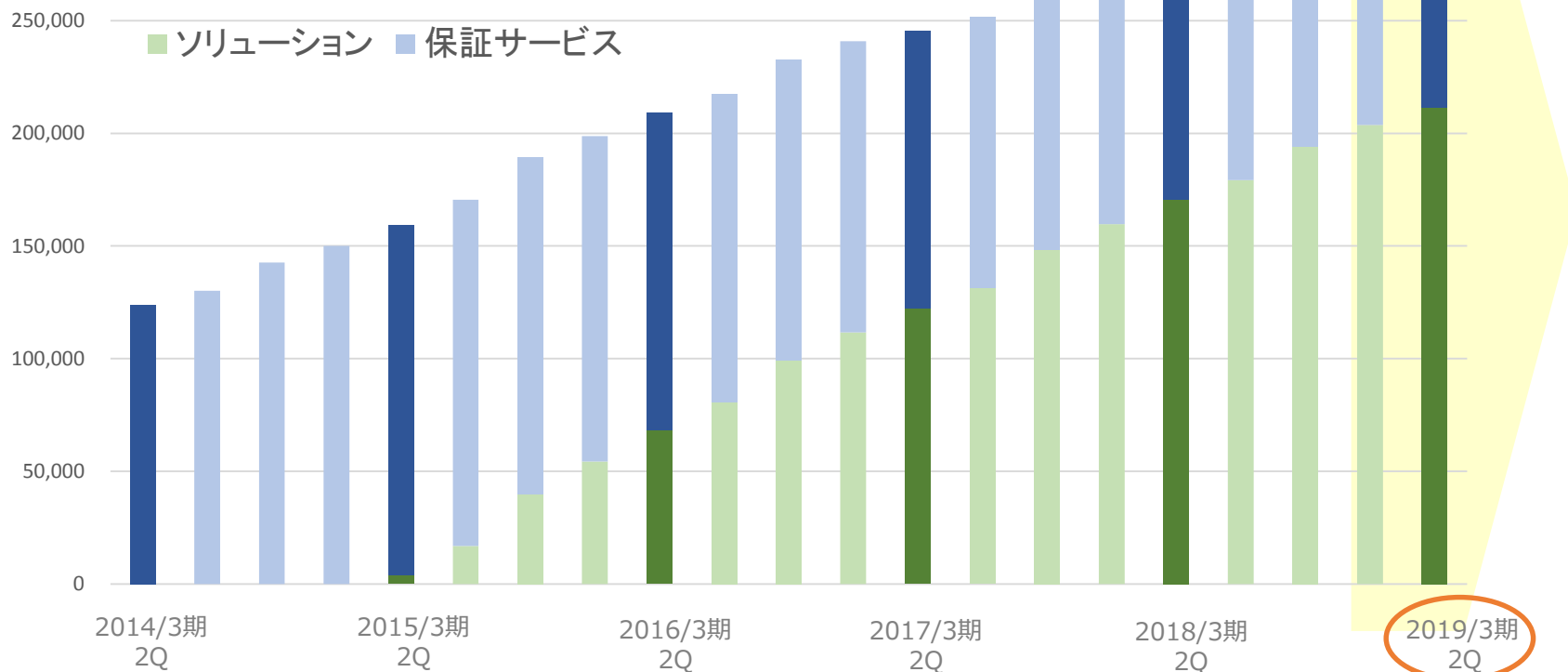
創業以来、保有契約件数  
確実に成長

年平均成長率  
(2013/9-2018/9)

20.7%

(単位：件)

件数	2018/3_2Q	2019/3_2Q	前年同期比(%)
保証	112,208	105,486	94.0%
ソリューション	170,488	211,459	124.0%
合計	282,696	316,945	112.1%



## 保証新分野 医療費用保証/介護費用保証マーケットでの 提供先増加

### 医療機関

〔提供機関〕

**102** 医療機関

(前年同期比 **128%**)

**22,998** 病床

(前年同期比 **127%**)

### 介護施設

〔提供施設〕

**151** 介護事業者

(前年同期比 **118%**)

(2018年9月末時点)

## 3. 2019年3月期 業績見通し

**増収 売上高 : 6.7%増見込**  
**増益 営業利益 : 4.9%増見込**

(単位：百万円)

	[前期]2018/3期		[今期]2019/3期 業績予想		対前年同期比		当初業績予想比	
	実績	売上高比率	今回修正	売上高比率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	2,951	-	3,150	-	198	6.7%	▲ 290	-8.4%
営業利益	772	26.2%	810	25.7%	37	4.9%	▲ 114	-12.4%
経常利益	752	25.5%	810	25.7%	57	7.7%	▲ 114	-12.4%
当期純利益	508	17.2%	545	17.3%	36	7.2%	▲ 84	-13.5%

【主な要因】

- ・売上は引き続きソリューション事業が成長を牽引  
家賃債務保証から派生した第2、第3のサービスとしてC&O(コンサル&オペレーション)サービス、  
保険デスクサービスの高成長がプラス寄与
- ・営業利益ではオペレーションの効率アップによる費用抑制効果を高め、上期に対して利益率向上を計画  
また、将来の収益増につながる人員増強を計画通りに実行

## □ C&O (コンサル&オペレーション)サービス

(単位：百万円)

	2018/3期上期 実績	2019/3期上期 実績	対前年同期比
C&Oサービス 売上高	660	722	109.5%

・ソリューション事業のうちお客さまのニーズに合わせて設計するC&Oサービスは大手企業から引合い旺盛

## □ 保険デスクサービス

	2018/3期上期 実績	2019/3期上期 実績	対前年同期比
保険デスクサービス 売上高	12	39	312.9%

・ソリューション事業のうち市場ニーズが顕在化しており、最も高成長なサービス

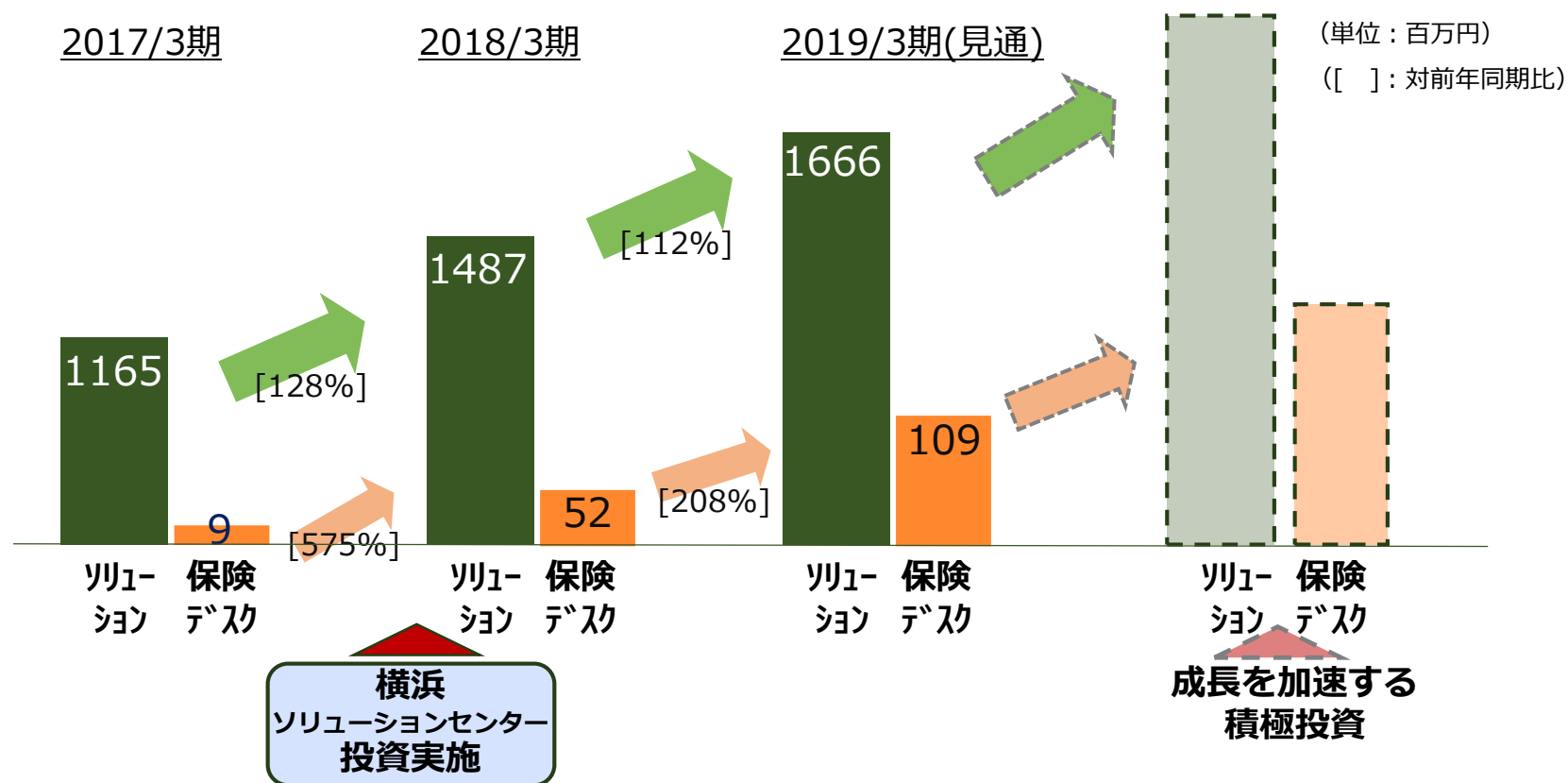
## □ 医療・介護費用保証

	2018/3期上期 実績	2019/3期上期 実績	対前年同期比
医療・介護費用保証 売上高	4	12	265.2%

・保証事業のうち潜在成長性の高い分野であり、市場ニーズを確信。浸透・爆発には要時間



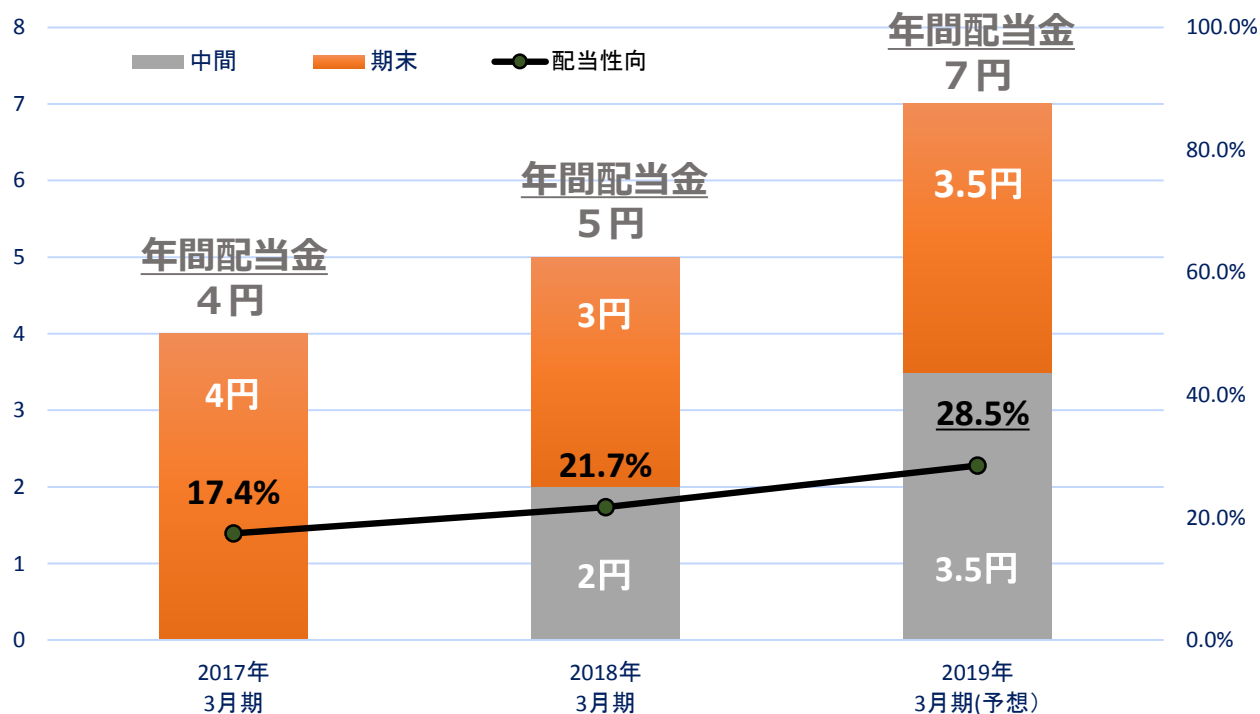
## 横浜ソリューションセンターの先行投資(2018/3期)が成長を呼び込む 大手企業から引合い旺盛、今後も積極投資



不動産管理会社に対して家賃債務保証に加え、第2第3の商材によって更に取引拡大(C&Oサービス、保険デスクサービス)

## 配当方針

将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績と連動した安定的な配当を継続していく



\* 2017年3月期の配当については、普通配当3円、記念配当1円（東証マザーズ上場を記念して）となっております。

# イントラストは保証スキームで社会インフラを 提供しサービスと流通の活性化を実現します

株式会社イントラスト



資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：株式会社イントラスト IR  
Email : info@entrust-inc.jp